

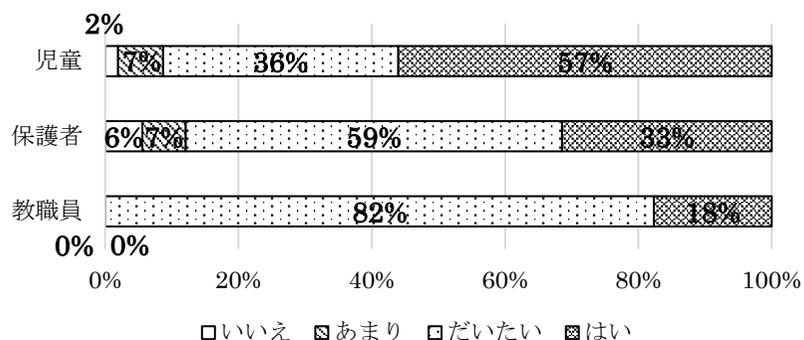


# 学校評価

令和4年3月15日  
京都市横大路小学校  
校長 谷 知加子  
TEL(075)601-0356

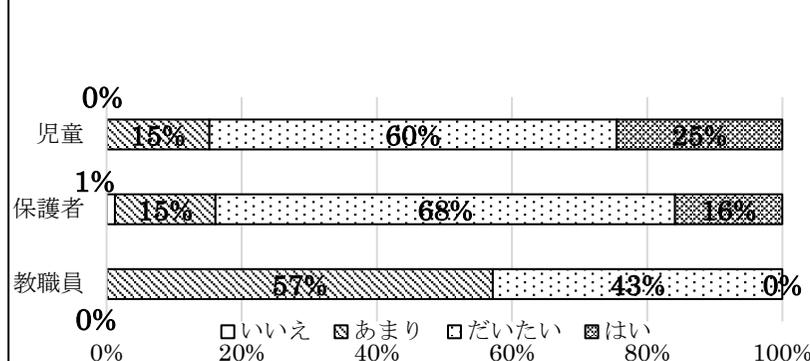
春の暖かさが待ち遠しい日が続きます。皆様には日頃より本校教育にご支援をいただきありがとうございます。保護者の皆様には、コロナウイルス感染予防から限られた行事等の中から学校評価にご協力いただきありがとうございました。皆様のご意見をもとに子どもたちのために、今後も教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

## ① 学校に来るのが楽しいですか



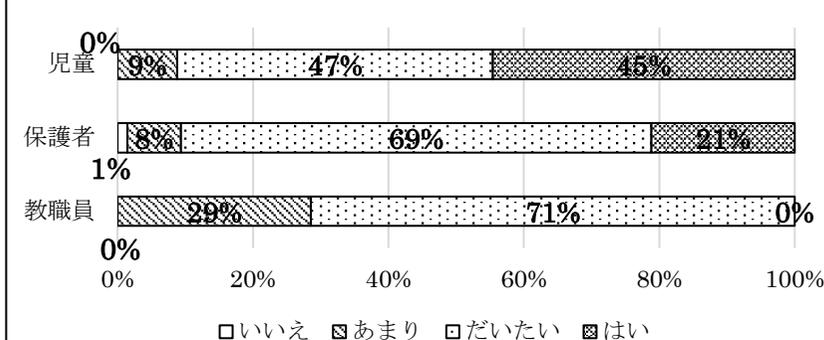
- ・今年度も新型コロナウイルスの感染拡大により、持久走大会や授業参観など様々な学校行事が中止になったり縮小されたりしました。子どもたちの活動が制限される中、できるだけ子どもたちへの影響を少なくするために、内容や方法を工夫しながら教育活動を進めた一年間となりました。
- ・そのような中にもかかわらず、大半の子どもたちが「学校は楽しい」と回答してくれたことは大変うれしいことだと思います。

## ② 思いや考えをもって学んでいますか



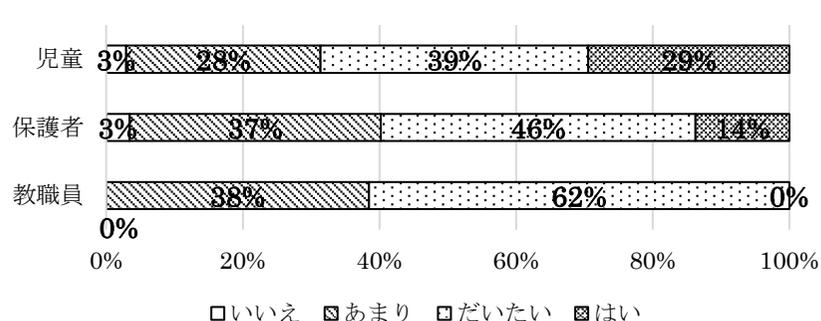
- ・学校では、今年度の学校目標の一つに「主体的・対話的な学びの創造」を掲げています。学習では、「学び合う楽しさ」「わかる喜び」を実感できる授業作りや「自ら課題を解決する過程を大切にしたい探究活動」を進めています。
- ・初めの頃は、授業中になかなか自分の思いを伝えるのが苦手だった児童も少しずつ自ら思いや考えを発表したり、友だちと交流したりできる場面が増えてきました。

## ③ 話し合いを大切にしていますか



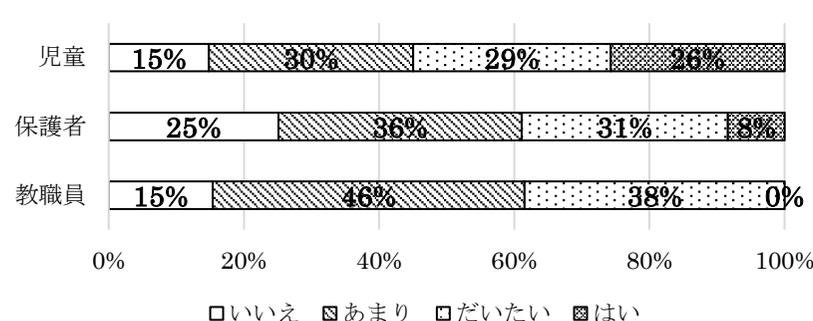
- ・児童の約9割が「だいたい」を含めると肯定的な回答をしています。友だちとの話し合いや交流をすることで、友だちの考えと自分の考えを比べたり、新しい考えに気づいたりすることができます。また、そのことが新たな学習への意欲につながります。
- ・今後は、さらに学びを深める対話や主体的な話し合いを取り入れた活動を進めていきたいと考えています。

## ④ 進んで学習していますか



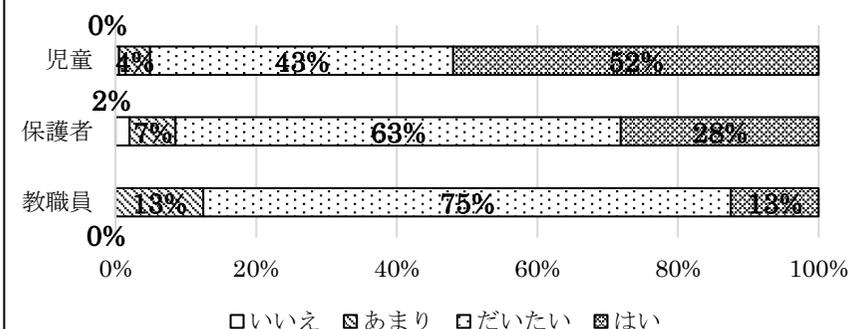
- ・児童の約7割が「できている」「だいたい」と肯定的に考えています。横大路小学校では、家庭での「自主学習」(自主勉)に以前より取り組んでいます。今年度は、校舎の出入口に「自主勉ノート掲示板」を設置し、子どもたちのがんばりを全校の子どもたちに紹介する取組を始めました。(自主勉グランプリ 金賞・銀賞・銅賞)
- ・このような取組を通して、少しずつ意欲的に家庭学習で自主勉強に取り組む子どもたちが増えてきたと考えられます。

## ⑤ 進んで読書していますか



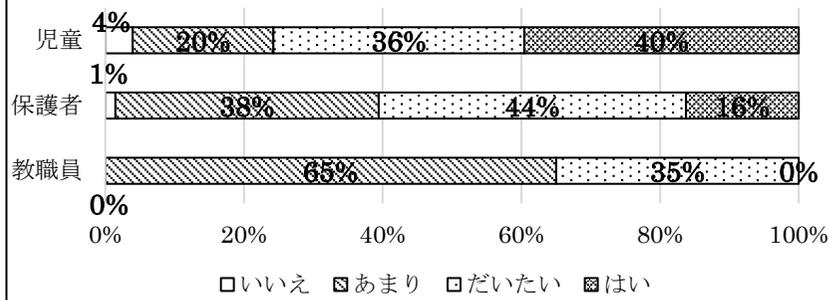
- ・読書を通して知識や集中力などが養われるところが多いので、横大路校でも読書活動を大切に考えています。
- ・学校では、「朝読書」や「目指せ100冊読書」の取組を通して、今後さらに本に親しむ機会を増やしていきたいと考えています。
- ・ご家庭でも、学校図書館や地域図書館での本の貸出を積極的に活用していただくなど、子どもたちが本に親しむ機会が増えるようにご協力をお願いいたします。

## ⑥ 自分や他者を大切にしていますか



- ・児童・保護者・教職員ともに約9割の児童が「できている」「だいたい」と回答しています。今年度も毎月の学級活動などで、人権について話し合う機会を設け、子どもたちの人権に対する意識を高めるようにしています。
- ・話し合った結果は、学級ごとに体育館横の掲示板に「〇月のかがやき目標」として毎月掲示をするようにしました。
- ・今後も相手の立場になって考えたり行動したりできることを目標に、豊かな人間性の育成を目指していきたいと思っております。

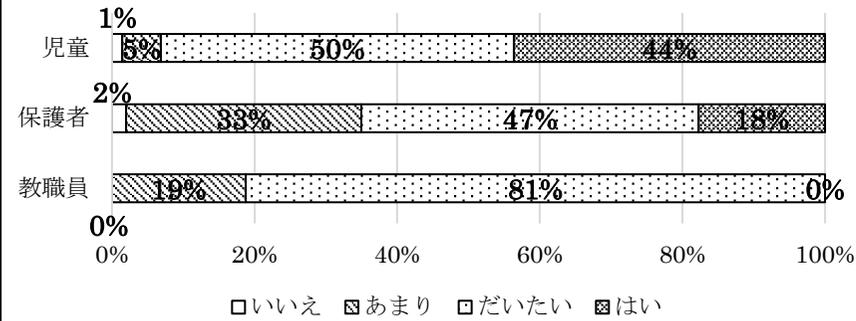
### ⑦気持ちのよいあいさつをしていますか



・毎朝の登校の時などで、「おはようございます」と元気にあいさつができる子どもたちが増えたように感じます。この頃は、低学年だけでなく、5,6年の高学年の子どもたちが、進んであいさつができる場面がずいぶん見られるようになってきました。

・あいさつは、人と人を結ぶ大切な習慣です。友だちだけでなく、だれに対しても進んであいさつができるようにしていきたいと思います。

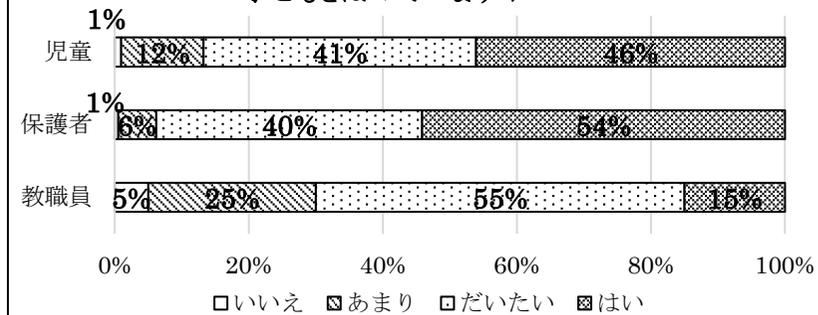
### ⑧きまりや約束を守っていますか



・9割以上の子どもたちが「できている」「だいたい」と答えていますが、保護者や教職員では、そうでないと回答している場合も見られます。

・学校のきまりや約束は、友だち関係や学校生活をスムーズにするための大切なものです。学校では、子どもたちに一方的にきまりや約束を押し付けるのではなく、きまりや約束がある理由をしっかりと理解させながら、子どもたちの心に届く指導をしていきたいと思っています。

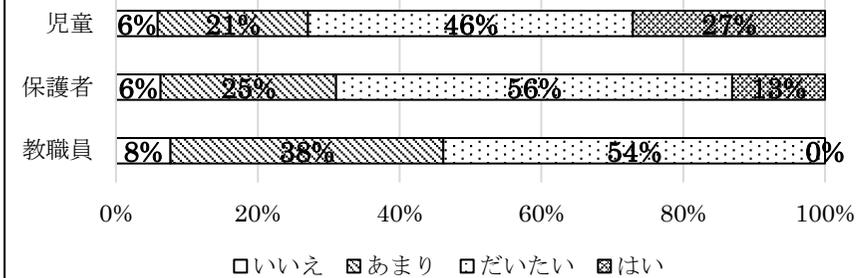
### ⑨ほめてもらっていますか 子どもをほめていますか



・後期もほめてもらっている（認めてもらっている）と感じている児童が多いのは、大変うれしいことです。

・少数ですが「いいえ」「あまり」と回答する児童や教職員があります。学校では教職員が授業中だけでなく、特別活動や掃除時間など学校生活のいろいろな場面でしっかりと子どもたちの様子を見取り、一人一人の子どもたちのがんばりを評価していきたいと考えています。

### ⑩生活習慣は身についていますか



・前期と同様に「できている」「だいたい」と考えている子どもたちや保護者が多数で、多くの家庭でご協力いただいている様子を感じられます。

・冬休み明けのマイライフ（生活調べ）では、高学年になるほどゲームやインターネットを長時間している傾向が見られます。ゲームやインターネットには、依存性やいろいろな問題が指摘されています。時間を決めるなどご家庭でのルール作りをお願いいたします。

### ○保護者アンケート 記述欄より抜粋

- ・まだまだ友だちに流されることが多いですが、よりよい言動や行動が身に付くように学校でも取り組んでいただけたら嬉しいです。
- ・担任の先生がいつも見守ってくださり、声掛けをしっかりとしてくださっているので、すごく伸びています。
- ・分からないところがあると先生に教えてもらったり、先生から声掛けをしてもらったりして、大変喜んでいます。
- ・先生が子どもの良いところ、苦手なところを理解してくれているので楽しく学校に行けていると思います。
- ・活発な姿や意欲的に様々なことにチャレンジしてみようとする姿が見られるようになってきました。
- ・毎日楽しそうに登校しています。仲良しの友達も多く、頑張ってる勉強しており、喜んでいます。
- ・生活習慣の見直しをしたいです。習い事でどうしても夜遅くなるようになってきました。
- ・大通で信号待ちをしているとき、ふざけて車道に足をだしている子どもたちがいるので、危ないと感じます。

## 京都はぐくみ憲章

～子どもを共に育む京都市民憲章～

わたくしたちのまち京都には、子どもを社会の宝として、愛し、慈しみ、将来を託してきた、人づくりの伝統があります。  
 そうした伝統を受け継ぎ、人と自然が調和し、命のつながりを大切にして、子どもを健やかで心豊かに育む社会を築くことは、京都市民の使命です。  
 大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つことを大切にして、子どもを見守り、喜び、時には厳し、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見定め、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要があります。  
 わたくしたちは、子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として市民憲章を定めます。

- わたくしたちは、
- 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
  - 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
  - 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
  - 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
  - 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
  - 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日(青空)と「こころ」の日の制定  
 3月13日 京都市議会が議事録を決定

### ○学校運営協議会の理事の皆様より

- ・コロナ禍の影響で多くの活動が中止や延期となり、子どもたちの学びや体験の機会が減ったことは悲しいことですが、その中でも工夫を凝らし運動会やパフォーマンスデイ（音楽会）、修学旅行などができたことには感謝しています。一日も早く元の学校生活が戻ってくることを願っています。
- ・小中一貫校の問題では、小規模校の良さを残しつつ小規模校で得られないものを小中一貫校で実現できたらと思います。いろいろと困難はあると思いますが、粘り強く一步一步前進していくしかないと思います。子どもたちは日本の未来であり、地域、学校、家庭で育む環境が大切だと思います。
- ・最近、朝の見守り活動をしています。子どもたちのあいさつが気持ちの良いほど元気な声で返ってくるので大変うれしいことです。
- ・令和5年度に創立150周年を迎えます。来年度には、一定の方向性を示すなどの準備をしていく時期かと思っています。